

失敗を積み重ねて強くなろう



工学研究科長 藤長愛一郎

2022年4月から工学研究科長をいたします藤長と申します。皆さんと直接お話する機会があればいいのですが、指導されている先生方と研究環境を少しでも整えることができるように努めるつもりです。よろしくお願いたします。

皆さんが大学院に進学された理由は色々あると思いますが、卒業研究で行った実験や解析に興味をお持ちであると思います。今取り組んでおられる研究や開発していることが、社会の役に立てば最高ですが、そうでなかったとしても、皆さんが大学院生として成長することで、大学院修了後、社会に貢献できます。

最近、SNS、AI、ドローン、自動運転など、私が学生時代に学んだことのない技術が急激に発展しています。また、地球温暖化やエネルギー供給、廃棄物の問題を含むSDGsは国際的な問題です。一方で、震災、コロナ禍、戦争など、昔から繰り返されてきた禍は今でも、いや21世紀の発展した国際社会だからこそ生じる問題なのかもしれません。

それでは、これらの問題にどう取り組めばいいのか、この様な大きな問題に対して私たちに何ができるでしょうか。それを今後、一緒に考えてもらいたいと思います。色々なことを自由に考えたり、学んだりできるのが、大学院だと思います。

しかし、時間は有限であり、貴重なものです。工学研究科では、皆さんが毎年、学術的な学会での研究発表をすることを目標にしていますので、それが励みになっている人もいれば、プレッシャーになっている人もいるかも知れません。

研究の実験や解析がうまくいかず、失敗が続くことが多いかもしれません。しかし、そもそも失敗というのは、予想した通りに出来なかつただけのことであり、多くの失敗を通して学んでいくものです。それで、「失敗は成功の基」ということわざもありますし、偉大な先生方も「無駄な失敗はない」と言われています。特に学生が失敗しても何ら気にすることはありませんし、そのために指導教員や我々がいます。

最後に、大学院生の人数は学部生に比べて非常に少ないのですが、学部生からすれば一番身近なお手本となるべき先輩です。大阪産業大学との諸先輩方を代表していると心して、大学院生活をおくって頂ければ幸いです。それでは、今年1年間よろしくお願いたします。